

園内研修情報

令和7年度 第1号

令和7年10月14日

火曜日



写真：園内研修の様子

「自園らしく、何でも語り合い、 日々の振り返りを大切に」

広島市内の私立幼稚園を
訪問してインタビューしまし
た。

○ 訪問した園

私立幼稚園

園児：41人 職員：8人

○ 今回お話をしてくださった方

園長先生と職員の先生方



○ インタビュアー

センター職員

何から始めたらいいのかわ
からないから、職員と話し
合うことから始めました。

センター 本日は、こちらの園の園内研修に
ついてお話をお聞かせいただけるということ
で、よろしくお願いいたします。

園長 特別な何かを行っているわけではあり
ませんが、本日は、職員が日常行っている、
日々の振り返りについてお伝えできればと思
います。よろしくお願いいたします。

センター 早速ですが、どのように振り返りを
行っているのですか。

園長 後ほど、職員に直接話を聞いていた
だければと思いますが、保育が14時半に
終わり、園バスが15時半には戻ると、副
園長を中心に、16時頃から始まる反省会
でお茶を飲みながら自然と今日の出来事につ
いての語り合いが始まります。

センター 園長先生も参加されるのですか。

園長 私は、住職をしていることや、地
域の対応などをしていることが多く、教務
については、ほぼ副園長に一任している
状態です。とはいえ、園長も役割がある
んですよ。（笑）

センター どのような役割ですか。

園長 例えば、週案の振り返りを記載す
る欄に、こどもの姿についての気づきや、
職員自身の心の動きなど、こども理解を
深め保育の広がりにつながりそうな部分
に、マーカーを引いています。

センター そうすると職員の皆さんは注目
されますよね。園長先生はどういった思い
でマーカーを引いているのですか。

園長 マーカーを引いた部分は、こどもた
ちや職員の姿や心の動きについて、職員
が気付いた部分で、「いいなあ」と感じた
所なので、日頃の語り合いの中で生かし
てほしいという願いを込めています。その
他には、クラスだよりや、学期ごとの振り
返りをするなどの取組もしていますが、私
よりも、職員がどう思っているのか、たく
さん話を聞いてみてください。

次ページへ

笑顔が絶えない職員関係なのはなぜ・・・？

センター ここからは、職員の皆さんにお話を伺いたいと思います。よろしくお願いします。

職員(皆さん) よろしくお願いします・・・。

センター あれ？緊張されてます？

職員(皆さん) はい。(笑)

センター 仲がよさそうですね。(笑) 早速ですが、自然に語り合いが始まるのですが、どんな風に始めるのですか？

副園長 保育後に園バスが戻ってきたら、日常的に反省会をします。そこで、その日の反省や翌日の予定などを話します。そうしていると、自然にこどもの姿について話題になり、職員が皆で、喜んだり、悩んだり、考えたりしていますね。行事前はテーマを持って話をすることが多くなりますが、その他は大体こどもの姿から語り合いになりますね。

センター ここにいただけでも、皆さんが楽しそうなのが伝わってくるのですが、日頃からこのような雰囲気ですか？

副園長 職員は若手とベテランで年齢差がありますが、楽しくやっています。(笑)ちなみに、20代の先生には、職員として戻ってきてくれた卒園児の先生もいます。

センター それは素敵ですね。若手の先生にもお聞きしますが、職場は楽しいですか。

職員 はい、楽しいです。先輩に何でも気軽に聞けるし、困ったら相談もしやすいので、安心して楽しく働けます。

センター 管理職をはじめ、ベテランの先生が、安心して話せる雰囲気を作っておられることで、職員の皆さんが話しやすくなり、笑顔あふれる職場づくりにつながっているのですね。

職員(皆さん) はい。(笑)

語り合いが保育の充実につながる。

センター この雰囲気で行っている日々の語り合いが保育に生かされていますか？

職員 そうですね、例えば、学期ごとの振り返りを学期末にしています。その際、こどもの姿を日頃語り合っていることで、こどもの姿やそうした姿が見られる経緯等を踏まえ、どのように保育を展開し、どうなっていったのかを詳細に捉え、振り返ることができます。その振り返りを生かして次の保育に繋げるため、保育の充実に向かっていると思います。

センター なるほど、日頃の語り合いが学期末の振り返りに生かされ、保育にも繋がりますね。学期末の振り返りはどんな雰囲気なのですか。

職員 少し構えた感じです・・・最初は。(笑)

センター 最初は？

職員 そうです。最初は構えた感じから始まるのですが、こどものことを話し始めると、結局、いつものような雰囲気です。どんどん話が進んでいきますね。(笑)日頃から、語り合ってこどもの姿を共有しているから、学年末の振り返りでは、「その後〇〇ちゃんどうなったの？」などにより深く話をすることができる場面がよくあります。

センター より深く話せるのは、日頃から皆さんが一人一人のこどもの姿を共有してイメージができているからでしょうね。

職員 そう思います。

センター こういった日々の反省会での語り合いはなぜ始まったのですか？

職員 基本的に昔から反省会はしていたのですが、反省会のスタイルに変化があったのは、写真を多く用いたクラスだよりを作るようになってからですね。

副園長 元は保護者にこどもの姿を伝えることが目的でしたが、写真を用いると職員もこどもの姿を捉えやすくなり、それが、活発な語り合いにつながったと思います。

これからも自園らしい現状を大切にしつつ、新たな風を入れたい！

センター 最後に、今の語り合える園内研修について感じていることを皆さんから一言ずつ聞かせてください。

職員 園内で語り合えるから、他のクラスの状況が分かる。だから、どの園児に対してもこどもに応じて関わりやすくなるのがいいと思います。

職員 全園児、園全体のことを把握しやすいことや、悩みを相談しやすいことはこどもたちにも職員にもいいことだと思います。

副園長 まず、副園長としては、職員みんなが、こどもたちのために取り組もうという意識になれるので、嬉しい。日々、語り合いをしていますが、常にこのメンバーなので、時には、外部の方からアドバイスをもらいたいと思うこともありますね。

職員 職員全員が、どのこどもにも関わろうという意識を持っているので、例えば、園児が休んだ翌日には、どの先生もその園児に声をかけるなどできるため、こどもや保護者も安心できる園づくりにつながっている。

職員 担任の私が知らない自分のクラスのこどもの姿を他の先生から話を聞くことで、よりこども理解が深まるので、語り合える園内研修はいいと思います。



写真：写真を多く用いたクラスだよりと、こども理解を深め保育の広がりに関わりそうな部分に、園長先生がマーカーを引いた週案

センター 皆さん、本日はとっても楽しい雰囲気の中、貴重なお話をしていただき、ありがとうございました。

職員(皆さん) ありがとうございました。
園長 ありがとうございました。またいつでもお越しください。